

尾花沢市地域おこし協力隊 活動報告会



3月22日、本市で活動している2人の地域おこし協力隊員の報告会がオンラインで行われ、1年間の活動の振り返りとこれからの抱負を発表しました。

佐藤隊員は令和3年9月末、久保田隊員は令和3年11月末で3年間の任期が満了となります。総まとめとなる令和3年度の活動の足がかりとその後の定住計画を視野に入れつつ、現在取り組んでいる活動内容や抱負について発表された内容をまとめました。



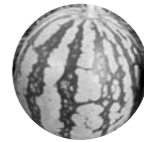
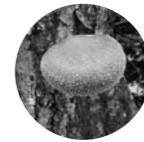
佐藤 直美(さとう なおみ)

平成30年10月、東京都調布市から転入。農業に興味がありスイカが好きなおから尾花沢に移住。農業を中心に、農産物の6次産業化、地域イベントのサポート、山での活動を行ってきました。

今後は、自然環境に配慮した持続可能な農業を構築し、農業に関わりながら、本市への定住を目指します。

農業と地域の活動

- ・農業 スイカの有機栽培、無農薬・脱穀以外は機械を使わない米作りで2俵収穫
- ・山 原木キノコの栽培、メーブルサップ採取、山道整備、わらび苗作り
- ・6次産業化 農家民宿・農業体験できる宿の予定地探し、山菜・農産物の加工品作成、食品衛生責任者資格取得、研修会に参加
- ・地域活動 矢越地区の雪まつり企画・運営に参加、そばオーナーイベントへの参加、はげこバグ作り開催。



久保田 文(くぼた あや)

平成30年12月、宮城県仙台市から転入。食に関する活動を行っており、令和元年度は市内有志とトツキ市の開催を手掛けました。令和2年度には、徳良湖オートキャンプ場管理棟内に「グースカフェ」をオープン。現在もカフェ運営に携わり、尾花沢産食材にこだわったメニューを提供し、徳良湖周辺の新たな憩いの場になっています。

グースカフェの活動

徳良湖での若者の居場所づくりを目的に、令和2年5月より計画を始動。廃校になった小学校から運び出した懐かしの机や椅子等を再利用し、オートキャンプ場管理棟の一角をリフォーム。7月にカフェをオープン。本市ではなかなか味わえない本格的なコーヒーや、尾花沢産食材を使った軽食や季節のスイーツを提供しています。現在、週末以外は一人で切り盛りしているため、提供に時間がかかってしまうのが課題。退任後の持続可能な経営体制を模索中。



おばなざわ春のオンライン移住体験ツアー

尾花沢すいかと暮らしの紹介

新型コロナウイルスの影響で県外への行き来が難しい中、自宅にいながら本市の暮らしを知ってもらおうと、オンライン移住体験ツアーを実施しました。

4月25日に開催された今回のツアーでは、尾花沢すいかの苗の定植作業やグラススタジオ旭での吹きガラス体験、先輩移住者のチェロ演奏などを企画。それぞれの場所でする移住者の方々が体験している様子を中継し、インターネットを通して見ている参加者に、リアルタイムで現場の様子を伝え、疑似体験してもらいました。

また、交流会のコーナーでは、参加者たちから「スイカの苗を作る際の台木は地域によって違うのか」「鳥獣被害は？」など様々な質問や感想が出されました。

この企画は、今後も定期的に開催していく予定です。四季それぞれの尾花沢を身近に感じてもらうことで、実際に尾花沢を訪れ、移住・定住につながるよう継続していきます。



▲徳良湖オートキャンプ場管理棟の本部では、パソコンの操作担当や司会者がスタンバイ。



▲徳良湖周辺のスイカ畑から中継。苗を植える現場での作業を細かに伝えられました。



▲元地域おこし協力隊の加藤皓平さん(埼玉県出身)は尾花沢での体験談を語り、日頃練習しているチェロを演奏。



▲グラススタジオ旭では吹きガラス体験を中継。オンライン参加者も体験気分を味わいました。



よろしくお願ひします!

「地域活性化起業人」にかみろ たかひろ 神尾高宏さんが着任

総務省の地域活性化起業人制度により日本航空㈱から派遣された、神尾高宏さん(福島県伊達市出身)が本市の「地域活性化起業人」に着任しました。4月12日から商工観光課に配属され、市内観光業の整備や地域資源の発掘・提案など、観光分野の業務に従事します。任期は3年間で、神尾さんは、「豊かな地域資源に恵まれた尾花沢市の魅力を発信し、国内外から多くの人流を生み出すことに取り組んでいきたいです」と意気込みを語りました。

花笠踊りの動画を見て「笠回し」特訓中です!

